



今月は、教科教育班カリ・マネチームの研修内容を紹介します。

○ 実証授業に向けての模擬授業

所属校で行う実証授業に向けて、プロジェクトチームだけではなく他チームや県立籍の指導主事にも生徒役をしていただき模擬授業を行いました。その後の協議では、手立てや授業の展開などについてたくさんのアドバイスやアイデアをいただきました。研修員の感想を紹介します。

模擬授業や協議を通して、目指す生徒の姿を意識することの重要性や、授業とカリキュラム・マネジメントのつながりについてなど、考えを深めることができました。実証授業に向けて十分でない手立てや授業展開を改善し、生徒が学びを深められるものにしたいと思いました。（中学 理科）



○ 実証授業

7月上旬から10月下旬にかけて、各研修員は、所属校にて研究構想に基づき第1回の実証授業を行いました。研修員の感想を紹介します。

学ぶ価値を見いだす生徒の育成を目指し、研究・実践に取り組んでいます。目指す生徒の姿につながる教科等横断的な手立てやその有効性の分析・考察を行っています。成果や課題を次の実証授業に生かします。（中学 数学）

主体的に課題解決に取り組む生徒の育成を目指して研究・実践に取り組んでいます。生徒自身が学習課題を設定することで、主体的に課題を追究することができるような授業を目指して頑張りたいと思います。（中学 社会）

目標に向けて粘り強く挑戦し続ける生徒の育成を目指して研究・実践に取り組んでいます。生徒が「わかった・できた・がんばった」を感じるための教科汎用的な手立てと有効性を明らかにできるよう頑張ります。（中学 英語）

論理的に考え、表現する生徒の育成を目指し、第1回の実証授業を行いました。対話活動の手立てを、教科等共通・教科固有の視点で整理して第2回の実証授業に向かいたいと思います。（中学 国語）

約半年ぶりの授業ということもあり、不安や緊張を感じながら教壇に立ちました。しかし、生徒たちの一生懸命な姿がそれらをすべて取り除いてくれました。計画通りに進まないこともありましたが、生徒の頑張りや良いところをたくさん見つけることができました。第1回の実証授業後の整理会では、手立ての有効性や各教科への汎用性があるかという視点で協議を行いました。この実証授業で得られた成果や課題を基に、各校の重点目標の達成に向け、生徒にどのような力を身につけさせたいのか、そのためにカリキュラム・マネジメントとして何をどのように各教科等共通で取り組んでいくのか、という視点で研究構想を見直し、第2回の実証授業に臨みたいと思います。